

2025年3月3日(月)

報道関係者各位

オリザ油化株式会社

オリザ油化のマキベリーエキス (MaquiBright®) が 韓国食品医薬品安全処から個別認定型特保原料 (Individually Recognized Functional Ingredient) として承認

オリザ油化株式会社(本社:愛知県一宮市,代表取締役:村井弘道,以下「オリザ油化」)は、2025年1月27日付けでオリザ油化が世界レベルで販売する機能性表示食品(日本)素材「マキベリーエキス (MaquiBright®)」が韓国食品医薬品安全処(以下、韓国 MFDS)より正式に**個別認定型特保原料 (Individually Recognized Functional Ingredient)として登録**された事をお知らせいたします。

「個別認定特保原料」とは、韓国の健康機能食品公典に登載されていない原料であり、営業者が原料の安定性、機能性、基準および規格などの資料を提出し、関連規定に基づいて評価され、機能性原料として認定を受けた事業所のみが原料を製造・販売できる制度です。登録には、韓国 MFDS による厳格な安全性評価基準のクリアが必要になります。この度、オリザ油化は、**韓国独自の基準を満たすために**様々な追加試験を実施し、**7年以上の歳月を経ての登録**となりました。

今回の認定により、最終製品のパッケージにヘルスクレームとして、「乾燥した目を改善し、目の健康に役立つ可能性があります」と表記できます。**今後韓国においてドライアイケアを製品パッケージに訴求するサプリメント等の食品への配合が可能**となります。

また、今回登録されたマキベリーエキスは、オリザ油化が提供する一定の規格基準を満たすエキスのみ対象であり、それらの規格を保証する為の元情報となるフィンガープリントが異なる物は、許可されません。

模倣品との差別化を図る為にもオリザ油化としては、同社が持つ商標である「MaquiBright®」をトレードマークとして商品パッケージへの記載を促し、ブランディング化していく事を啓蒙していきます。



マキベリー

■ マキベリーエキスについて

オリザ油化では、ドライアイ予防、生体内抗酸化作用及び血糖値上昇抑制作用を有する素材として

2012年に世界に先駆けて上市しています。

効果効能別に「MaquiBright®」「Delphinol®」と2種類を用意しており、「MaquiBright®」は、目の潤い、目の疲労感、不快感、肩の負担軽減などのドライアイ改善を中心としたアイケア訴求、「Delphinol®」は、皮膚の赤みの改善、肌の抗老化などの抗糖化訴求や血糖値上昇抑制作用などで展開しています。

特に「MaquiBright®」はチリ政府と慶應義塾大学、さらに岐阜薬科大学との様々な共同研究により、眼病予防作用(ドライアイ予防やブルーライト対策等)を発見しました。これらの発見について日本、米国、カナダ、欧州、イスラエル、韓国でドライアイ予防としての特許を取得しており、ドライアイ改善用サプリメントとして世界各国で数多くの製品への採用実績を構築しています。

又、「Delphinol®」は、オリザ油化独自の評価技術により、「美白剤」、及び「皮膚における赤み改善剤」として日本で特許を取得しています。

今回の韓国における個別認定特保原料登録により、益々増え続ける眼病予防対策に、このマキベリーエキス(MaquiBright®)が、世界を代表する差別化原料として一翼が担える様、更なる期待が高まっています。

以上